

各学校園で以下の『ポイント』をもとに取り組んでみましょう

がん教育総合支援事業

指定の概要について

健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに資する能力の育成を図ります。



ここがポイント！

- ・がんについて正しく理解することができるようにしましょう。
- ・年間指導計画に基づいて、保健体育科や道徳科、特別活動等で健康と命の大切さについて考える授業を実践しましょう。

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業

指定の概要について

○巡回通級による指導

行政区を越えた通級による巡回指導を実施し、小・中学校における通級による指導をより一層促進するとともに、学齢期の切れ目ない支援体制の構築を図ります。

特別支援教育の充実に向けたポイント！



- ・子どものできそうなことに目を向けて、できた達成感を感じられるような「自立活動」の指導を充実させましょう。
- ・通級指導教室での成果を通常学級での授業に生かせるように、通常学級と通級指導教室の連携を図りましょう。
- ・「個別の指導計画」を日常から活用できるように意識しましょう。
- ・群馬県「通級による指導パッケージ Ver.02」を活用しましょう。

各教科等授業改善プロジェクト

指定の概要について

ICT を使うことが目的となっている授業が見られるという課題を受け、ICT の効果的・効率的な活用を視点とした授業実践・研究を通して、「群馬ならではの新しい学び」の更なる発展を図ります。全県に向けた授業公開、教科別授業改善研修会をオンラインでも視聴できます。



ここがポイント！

- ・各教科等の目標に迫る授業づくりのために「はばプラⅡ」、「はばプラⅡ ICT 活用 Ver」を基にした教科の特質に応じた ICT の効果的な活用を考えてみましょう。

非認知能力育成に向けたモデル校による実践研究

指定の概要について

社会の在り方が大きく変化していく未来を生きるために必要となる非認知能力の育成を目指し、カリキュラムや実施体制を整備し、新たな学びのスタイルを構築します。



ここがポイント！

- ・各教科等の授業において、児童生徒が課題を自分事として捉え、自らの学び方を選択し、解決に向けて主体的に取り組んでいけるよう、魅力ある学習課題を設定したり、問題解決的な学習を充実させたりしましょう。
- ・自ら考え、判断し、責任ある行動をとることのできる児童生徒の育成を目指し、教育活動のあらゆる場面において、児童生徒の自己決定を促すとともに、よさを認め励ましましょう。

ぐんまの子どもの体力向上(武道)推進事業

指定の概要について

体力向上(武道)推進モデル校において、生徒の体力向上を目指し、保健体育の指導を担う教員の資質向上と、武道を含めた体育授業の充実を図ります。



ここがポイント！

- ・運動だけでなく、生活習慣や食育、家庭との連携など、総合的な取組が図れるよう、先生方で連携・協働し、学校全体で組織的に取り組みましょう。
- ・体育の授業では、個や集団の課題を明らかにし、その解決を目指して、運動量の確保に努めながら、ICTを活用し、練習方法や場、学習形態等を工夫しましょう。

生徒指導提要の改訂

改訂の主な概要について

- ・生徒指導上の3つの機能に「安全・安心な風土の醸成」が加えられ、「生徒指導上の4つの視点」として示されています。
- ・生徒指導の分類を「2軸・3類・4層を重層的支援構造」と構造化して示されました。特に、「成長を促す指導」は「発達支持的生徒指導」と「課題予防的生徒指導：課題未然防止教育」に分けられました。



活用するポイント！

- ・個別課題に対して、関連法規や対応の基本方針に照らしながら示されているので、生徒指導提要を使い、職員会議や校内研修で、未然防止や早期発見・対応について先生方で共通理解しましょう。
- ・児童生徒の意見を聴いたり、児童生徒が主体的に参画したりする機会を設けるなど、身近な課題を自ら解決する活動を取り入れましょう。